

(2) 山田のめおとふじ



三春町役場より、国道 288 号を 5 km ほど西へ行くと、レストランなどの店の並ぶ山田地内に入る。さらに 20m ほどいくと、桜川が左へ向きをかえる右手の土手に幹のまわりが約 3 m、高さが約 20m もある大きなケヤキの木が、昼なお暗しとばかりに、川面におおいかぶさっている。

ケヤキによりそうフジ そのケヤキの木に、大小 4 本ものフジがお互いによりそうようにして、伸びているのが見られる。その様子は、あたかも夫婦がお互いにかばい合い助け合っている姿を思わせる。

最大のもは板状の幹の幅が 1 m ほどもあり、県内有数のフジの大木になっている。

近年いたみもはげしくなってきたが、春になると、新芽がふき出し、初夏には紫色の花の房が道路からも、たくさんみることができる。



フジの幹